

厚生保険特別会計 平成17年度特別会計財務書類の概要

貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減		前年度	17年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	72,921	56,635	△16,286	未払金等	5,378	5,557	179
運用寄託金	66,573	77,770	11,196	借入金	1,479	1,479	—
未収金等	6,281	6,372	90	公的年金預り金	139,629	137,493	△2,135
貸倒引当金	△401	△366	35	その他	168	165	△3
有形固定資産	1,201	606	△594	負債合計	146,655	144,695	△1,960
うち国有財産 (公共用財産を除く)	1,175	593	△582	< 資産・負債差額の部 >			
その他	568	3,777	3,208	資産・負債差額	489	99	△389
資産合計	147,144	144,795	△2,349	負債及び資産・負債差額合計	147,144	144,795	△2,349

業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
健康保険給付費	3,938	4,050	111
厚生年金保険給付費	21,614	22,071	456
老人保健拠出金	1,899	1,790	△109
国民年金特別会計基礎年金勘定への繰入	10,826	11,392	565
補助金等	541	529	△12
出資金評価損	128	2	△126
その他	1,652	2,854	1,202
本年度業務費用合計	40,601	42,689	2,087

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
前年度末資産・負債差額	5,679	489	△5,190
本年度業務費用合計(A)	△40,601	△42,689	△2,087
財源(B)	41,436	40,534	△901
公的年金預り金の変動に伴う増減	△6,027	2,135	8,163
その他	2	△370	△372
本年度末資産・負債差額	489	99	△389

区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	17年度	増減
業務収支	383	1,156	772
財務収支	△9	△9	△0
本年度収支 (業務収支+財務収支)	373	1,146	772
資金への繰入等	△366	△1,138	△771
資金残高等	72,914	56,627	△16,287
本年度末現金・預金残高	72,921	56,635	△16,286

平成17年度について

資産合計は2兆3,493億円の減少、負債合計は1兆9,600億円の減少、資産・負債差額は3,893億円の悪化、業務費用は2兆876億円の増加となりました。資産合計の減少の主な要因は現金・預金の減16兆2,865億円及び有形固定資産の減5,945億円であります。負債合計の減少の主な要因は公的年金預り金の減2兆1,355億円であります。資産・負債差額の悪化の主な要因は、業務費用合計と財源の差額2兆1,543億円、公的年金預り金の変動に伴う増2兆1,355億円及び無償所管換等による減2,983億円であります。業務費用の増加の主な要因は、年金資金運用基金交付金の増1兆185億円及び他会計(勘定)への繰入の増5,654億円であります。

留意点

主な増減内容

- 貸借対照表
(資産)
現金・預金…年金勘定△17兆4,459億円、健康勘定+1,245億円
運用寄託金…年金勘定+11兆1,963億円
出資金 年金健康保険福祉施設整理機構 +3兆1,880億円
(負債)
公的年金預り金…年金勘定△2兆1,355億円
- 業務費用計算書
厚生年金保険給付費…年金勘定 +4,564億円
国民年金特別会計基礎年金勘定への繰入 +5,651億円
その他…年金資金運用基金交付金 +1兆185億円、出資金評価損△1,266億円
- 資産・負債差額増減計算書
公的年金預り金の変動に伴う増減 +8兆1,630億円
本年度業務費用合計と財源合計との差額 △2兆1,543億円
(上記(A)+(B)により算出)⇒企業会計の「当期純損失」に相当
- 区分別収支計算書
業務収支…資金からの受入+6兆2,496億円、運用収入△5,349億円、国民年金特別会計基礎年金勘定への繰入△4,957億円、年金資金運用基金交付金△1兆185億円、出資金△3兆508億円